

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 環境政策課 ☎24-5257

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1mあたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		8/2~8/9	8/9~8/16	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.12	0.40
	南相馬市就業改善 センター (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.050	0.15
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.036	0.042
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.14	0.44
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.060	0.067
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.049	0.029
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.057	0.047
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.047	0.082

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		8/2~8/9	8/9~8/16	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.029	0.031
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.017	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

この1年間の大気浮遊じんに含まれている放射能量は、健康影響について特別の配慮を必要とする数値ではありませんのでご安心ください。今後も正しい情報を積極的に入手するように務め、自分の置かれている状況を正しく理解しましょう。